

# リスクアセスメントの実施支援システム

ホーム > リスクアセスメントの実施支援システム

## リスクアセスメントの実施支援システム

小規模事業場を対象として建設業、製造業、サービス業、運輸業(30種類)の作業・業種別にリスクアセスメントの実施を支援します。

初めての方へ  
使用する際の  
留意事項

支援システムの操作(使用)方法  
(建設業、製造業、サービス業、運輸業)

マトリクスを用いた方法  
(詳細説明)

マトリクスを用いた方法  
(すべての作業・業種)  
「負傷又は疾病の重篤度」と「負傷又は疾病の発生の可能性」をそれぞれ横軸と縦軸とした表(マトリクス)に、あらかじめ重篤度と可能性の度合いに応じたリスクの程度を割り付けておき、見積り対象となる負傷又は疾病の重篤度に該当する列を選び、次に発生の可能性に該当する行を選ぶことにより、リスクを見積る方法です。

数値化による方法(詳細説明)

数値化による方法  
(鋳物製造業・食品加工業・ビルメンテナンス業・産業廃棄物処理業・自動車整備業)ここでは、「負傷又は疾病の重篤度」、「負傷又は疾病の発生の可能性」、「発生する頻度」を一定の尺度によりそれぞれ数値化し、それらを数値演算(足し算)してリスクを見積る方法をいいます。

安全衛生キーワード(安全衛生情報センター)  
「リスクアセスメント」

製造業、サービス業、運輸業

建設業

製品組立作業

マトリクスを用いた方法  
解説

熱処理作業

マトリクスを用いた方法  
解説

溶接作業

マトリクスを用いた方法  
解説

成形作業

マトリクスを用いた方法  
解説

木材加工作業

マトリクスを用いた方法  
解説

塗装作業

マトリクスを用いた方法  
解説

めっき作業

マトリクスを用いた方法  
解説

金属加工作業

マトリクスを用いた方法  
解説

印刷・製本作業

マトリクスを用いた方法  
解説

## リスクアセスメント実施一覧表

作業名		グループ名	リーダー	記録係	発表者							
フォークリフト運搬作業												
項目番号	作業名	危険性又は有害性と発生のおそれのある災害「～するとき、～したので、～になる」	リスクの見積り				リスク低減措置案	措置実施後のリスクの見積り				備考(残留リスク)
			重篤度	可能性	評価	優先度		重篤度	可能性	評価	優先度	
1	フォークリフト運搬作業	ボックスパレットを積みすぎて、前方の視野が見えないため、前方で作業していた人に突進し大けがを負わせる。	3	3	6	V	前方の視野が見えない場合は、バック走行し、かつ速度を落とす。	2	1	3	II	荷を積んだ時に前方の視野が見えるか確認し、見えにくい場合はバック運転することを徹底させる
2	同上	ボックスパレットの高く積みすぎたため、ボックスパレットが荷崩れて、前方で作業していた人に当たり負傷する。	2	3	5	IV	ボックスパレットの高さは2段までとし、かつ荷崩れしないようにロープ掛けする。	1	1	2	I	作業手順を守らせるため、作業手順書の明記と周知徹底を図る必要がある
3	同上	フォークリフトのパレットへの差し込みが浅かったため、ボックスパレットが荷崩れて、前方で作業していた人に当たり負傷する。	2	3	5	IV	フォークをパレットの根本まで深く差し込み、かつ荷崩れしないようにロープ掛けする。	1	1	2	I	作業手順を守らせるため、作業手順書の明記と周知徹底を図る必要がある
4												
5												

見積り：●災害の重篤度 3＝極めて重大(死亡・障害) 2＝重大(休業災害) 1＝軽微(不休災害)

●発生可能性 3＝確実又は可能性が極めて高い(よほど注意がないと負傷する) 2＝可能性がある(注意していないと負傷する) 1＝ほとんどない(注意していてもほとんど負傷しない)

評価：●評価 6＝直ちに解決すべき問題がある 5＝重大な問題がある 4＝かなり問題がある 3＝多少問題がある 2＝問題は少ない

優先度：●優先度 V＝即座に対策が必要 IV＝速やかな対策が必要 III＝何らかの対策が必要 II＝必要に応じて対策する I＝対策の必要なし

注意1：リスク低減措置案は具体的に記載すること。(悪い例：滑らないように注意する。良い例：滑り止め〇〇を使用する。)